Q 高齢者の補聴器購入に補助制度を

A 必要性を検討します



山崎（やまざき） ふじ子（こ） 議員

問 日本では、加齢性難聴者が約1，400万人いると推計されており、80歳以上になると8割以上の方が加齢性難聴になると言われています。難聴は徐々に進行するため自分自身で変化に気づくことが難しく、言葉の聞き違いが増えることで自覚していくそうです。
認知症予防のためにも、補聴器は早い時期に使い始めることが勧められます。片側2~3万円から30万円以上するものもあり、補助制度があれば早めに使い始められると思いますがいかがですか。

保健福祉課長 加齢による聴力低下で補聴器が必要な方に対する補助制度は国・県の支援はなく、市町村が独自に助成を行っています。他自治体の取組状況等も参考にしながら必要性を検討していきます。



はずむ会話

Q 三春町住生活基本計画の進行状況は

A 「みはるぐらし図鑑」を配布しお知らせします



三瓶（さんぺ） 文博（ふみひろ） 議員

問 現在の進行状況はどのようになっていますか。

建設課長 町民に本計画を知っていただくため、「みはるぐらし図鑑」を各世帯に配布する準備を進めています。

問 空き家についての取り組み内容を教えてください。

建設課長 「第3期三春町空家等対策計画」の策定を進め、「家き家の発生抑制」「空き家の利活用」「空き家の適切な解体・除去」の三本柱で具体的な対策に取り組みます。

問 家き家バンクの登録物件は一件しかありません。住民の協力がなければ登録が増えないと思いますが、どんな対応を考えていますか。

まちづくり推進課長 空き家実態調査の回答者に対して個別にアプローチしていきます。

詳しくはこちら



「三春町住生活基本計画」と計画の概要版「みはるぐらし図鑑」

Q 体育館空調整備設置の優先順位は

A 中学校体育館から整備します



大内（おおうち） 広信（ひろのぶ） 議員

問 国では15年間で全国すべての施設に空調設備を完備する予定ですが、5年間前倒しで実施する予定になりました。避難所となる体育館等での災害関連死を防ぐためにも、空調設備の設置は急務と考えます。そこで3点質問します。
①町としての優先順位はどのように考えていますか。
②国の補助金はどの程度ありますか。
③財源不足であれば5年間程度積立をし、設置の予算に充てる考えはありますか。

町長 ①避難所となる学校体育館を優先し、中学校体育館、小学校体育館や社会体育施設の順に、空調設備の整備を検討していきます。
②「屋内運動場の空調設備整備事業」や「大規模改造（空調）事業」の補助金があります。
③新たに積み立てを行うことは考えておりません。



移動式空調設備の導入